

スポット名	住所	特徴
県立秦野戸川公園 （パークセンターにQR設置） 	〒259-1304 秦野市堀山下1513	表丹沢の山々と秦野盆地に囲まれ、丹沢の山から湧き出る水無川が中央に流れる都市公園です。 高さ35m、長さ267mの公園のランドマーク「風の吊り橋」でつながれた水無川の両岸には、「子供の広場」「バーベキュー場」「お茶室」「自然観察の森」「多目的グラウンド」などがあり、川遊びだけでなく美しい丹沢の山並みを背景に一日中レジャーを楽しむことができます。 丹沢登山口としても知られ、多くの登山客やキャンパーでにぎわいます。
はだの丹沢クライミングパーク 	〒259-1306 秦野市戸川1398番地	表丹沢の玄関口、県立秦野戸川公園内にある秦野市立のボルダリング施設で、幅20メートルのボルダリングウォールを2面設置しています。表面には2019年8月に東京2020オリンピックスポーツクライミング競技の代表選考会を兼ねて開催された「IFSCクライミング世界選手権八王子大会」で使用されたボルダリングウォール、裏面には「2016希望郷いわて国体」で使用されたボルダリングウォールが移設されています。初心者から上級者まで幅広く楽しめるように多彩なルートが用意されています。2021年7月には、東京2020オリンピックのスポーツクライミング競技アメリカ代表チームが事前キャンプを実施し、そのレガシーとして銘板を設置しましたので、お越しの際はぜひご覧ください。
緑水庵 	〒257-0021 神奈川県秦野市蓑毛269番地	秦野市今泉に昭和5年に建てられた昭和初期の標準的農家である芦川佐吉氏の住宅を移築したものです。宝蓮寺大日堂、源実朝公御首塚、金剛寺など史跡・文化財や自然に恵まれた地域にあり、史跡探訪、丹沢登山、観光などの訪問者のための学習施設・レクリエーション施設として利用されています。また、令和2年4月3日に国登録有形文化財（建造物）に登録されました。

登って使ってOMOTAN旅（第3弾_10/1～11/30）

OMOTANエリア

スポット名	住所	特徴
菜の花台園地 	〒259-1301 秦野市羽根1079-5	秦野市街からヤビツ峠へ向かう途中にある駐車場を備えた展望スポットです。晴れた日には展望台から秦野市街だけでなく、相模湾から富士山まで一望することができ、夜景のスポットとしても知られています。
田原ふるさと公園 	〒257-0028 秦野市東田原999	鎌倉幕府三代将軍、源実朝公の首が葬られたと伝えられている「源実朝公御首塚」をはじめ、周辺の金剛寺、大日堂、波多野城址、ヤビツ峠、自然観察の森など、中世の歴史を伝える史跡とめぐまれた自然の中にある公園です。「ふるさと伝承館」には、農産物直売所、そば処、漬物加工施設が入っており、地場産のそば粉の手打ちそばやそば打ち体験、朝取り野菜などの直売を提供しています。
弘法山展望台 	〒257-0031 秦野市曾屋5890	浅間山（せんげんやま）、権現山（ごんげんやま）、弘法山（こうぼうやま）の3つの山一帯を弘法山公園と呼び、県立自然公園にも指定されています。春には、園内にある1400本以上の桜が咲き誇り、桜の名所としても有名で、平成6年度には「かながわの花の名所100選」に選ばれています。他にも夏のアジサイ、秋の紅葉など、四季折々の美しさがあり、ハイキングや散策に最適です。
表丹沢野外活動センター 	〒257-0000 秦野市菩提2046番地の5	表丹沢の麓にある施設です。青少年が丹沢の自然を大切にし、自然や人とのふれあいを通して、自立と連携の心を育てることを目的とするとともに、「ふるさと秦野」を次代に継承するために、里地里山保全活動を行う拠点となる施設です。緑に囲まれた自然の中の施設で、研修棟、活動棟、キャンプ場などがあります。

登って使ってOMOTAN旅（第2弾_10/1～11/30）

OMOTANエリア

スポット名	住所	特徴
ヤビツ峠 	秦野市寺山	ヤビツ峠は表尾根縦走の拠点です。現在のヤビツ峠は、県道70号線（秦野清川線）の上にあります。そのやや西側に、旧ヤビツ峠があります。 標高 約761m
震生湖 	秦野市今泉1814 	1923年（大正12年）9月1日の関東大震災で震生湖は誕生しました。 令和8年10月2日（金曜日）正午から、震生湖に架かる新しい橋の供用を開始します。 橋の建設に併せて広場もリニューアルし、東屋や学習用看板等も設置されました。 湖畔の散策がより快適になりました。 ※ 決定した橋の名称は、供用開始日の午前中に開催する完成式典で発表し、当ホームページ等で公表します。